

拝啓 新しい年を迎え、早や1月下旬となりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。この寒い時期に、近所の小学校の道路わきの植え込みに早咲きの彼岸桜が咲いていました。

今月は、モーク先生の第9回目ですが、モーク先生のバイブル・クラスの週報「光の子達」に載っていたモーク先生の文章の引用です。「光の子達」は、昭和5年、6年にバイブル・クラスの有志が出していた週報でした。実物写真を今回のエンカウンターの最終ページに載せておきましたが、ガリ版刷り、ダブロイド版4頁建ての週報でした。この週報を、小西先生が、戦後もずっと保存されておられたことから、1986(昭和61)年に始めて本になったものです。(小西先生が亡くなられたのは、昭和55年です。)

1月3日の南原シンポジウムでの鴨下先生の講演を、本誌読者の佐藤昭夫さんがDVDに撮って下さったものを、ダビングし、関係者とエンカウンターの読者の皆様にもお送りしました。

鴨下先生の親友の鳥居勇夫さん・祝子さん(愛知県安城市のお医者さん)ご夫妻から頂いた年賀状の一部を引用させていただきます。

「召される20ほど前にお会いした時のご様子では、講演は無理かなと懸念したものです。ところが講演会当日、車椅子で静かに語られた言葉は非常に力があり、清冽な内容で為すべき使命を果たされた地上での見事な最終楽章でした。人がその使命 それは神様との約束事 を果たそうとする時、計り知れない能力(ちから)を与えられ、人間業とは思えないようなことが全うされていくことを思い知らされる思いです。(勇夫)

初夢に、この畏友が奇しくも現れ『次元を超えて、私は生きています』と声をかけられて目が覚めました。嘘のような本当の話です。『エマオへの途上』(ルカ福音書24:13~17)でイエスに呼びかけられた弟子の心境とはこんなだったのでしょか?(祝子)

1月7日、佐藤昭夫さんと、新年山行として石割山(1413m)に行きました。好天で、富士山と南アルプスの素晴らしい眺めに恵まれました。2年前、鴨下先生ご夫妻をこの石割山にご案内したことがありました。

今井館E会議室での高円寺東集会は、12月11日に第1回を始め、1月22日第4回まで無事開きました。参加者は、只今は多い時で8人、少ない時で4人という少人数の聖書集会です。ガラテヤ書講解のテープを聴いております。

最も寒い時期を迎えておりますが、お風邪など召されませぬよう、お身体ご自愛のほど祈り申し上げます。

平成24年1月23日

山口周三

エンカウンターの読者各位